

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
プレイハウスあゆむ						公表日：2026年2月10日	アンケート実施者：常勤職員5名
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5		看護師は多めに配置するなどして、現状は適切と言える。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	1	段差が全く無い訳ではないが、車イス・バギーには対応できるようにしてある。	段差、出っ張りがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1		トイレが暗い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		完全に区切られた個室はない（事務室以外）が、目的に応じて場所を変えられるようスペースは分けてある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		・支援について…常勤職員全員でモニタリング、支援会議を行い、毎日の昼礼は出勤者全員で行っている。 ・全般…月一回の社内全体会議で目標設定と振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		支援会議のほか、毎日のミーティングなど、日々話し合いで意見を言える環境。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	1	苦情解決のための第三者委員は設置しているが、業務に関する評価は受けていない。法人内の他事業所職員がヘルプに入ることがあるため、その時に感想や意見を聞いている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		5		義務化研修はもちろん、常勤職員は一人平均年間6回程度は外部研修や勉強会などに参加できるようにしている。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			見直しの必要はあると思われる。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		相談支援専門員とも連携している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援会議、モニタリング、昼礼で話し合うことで情報共有・共通の支援を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		サイン後にも必ず事務室内に掲示→個人ファイル保管し、放課後等デイサービス用ソフトを利用しており、ソフト上でも誰でもいつでも確認できる。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		年間ではイベント等で工夫するようにしている。日々の活動は、目的があり散えてあまり変えないようにもしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		昼礼、	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		翌日の支援前の昼礼で必ず振り返りを行っている。	労働時間の規制で毎日必ずその日のうちにはできない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		5領域に基づく視点での記録内容にしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		利用者に関わる教育、医療、他サービス、他事業所との連携は取っている。	地域の関係機関との繋がりは薄い。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		当方が求める場合のみ行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		当方の必要に応じ行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	研修がある場合は受講する機会は設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・餅つき大会などの機会はある。 ・児童館を利用している児童がいるため、児童館の指導員との交流はある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		こども部会および全体会にも参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎日の提供記録や送迎時で共有している。	提供記録や送迎時などで様子を伝え合えるが、発達の状況や課題の共有は担当者会議やモニタリング時に限られる。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・所属団体の学習会や子育て相談会の案内は必ず行っている。 ・家族の参加できる研修の情報提供は積極的に行っている。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		支援プログラムについては特に説明はしていないが、専用ソフト上での周知をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			保護者の意向は確認しているが、自分お石を発信できる子どもは少ない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		所属団体で保護者の催しがある時は、必ず案内をしている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		専用ソフト、インスタ利用	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	餅つき大会には地域からの参加も受け付けている。	インスタでは日々の活動情報を発信している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			各マニュアルは策定しているが、家族への周知はできていない。全てに対しての訓練は行っていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			BCPの見直しは必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		必須	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		現在は該当児はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		活動のうえでの安全確保のための行動計画は立てて支援しているが、訓練はしていない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	訓練をした時はSNSで発信している。	家族への周知が行き渡っていない部分あり。今後は専用ソフト上に掲載し、周知を図る。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット・インシデント・アクシデント報告書を作成し、職員で共有し反省を行っている。書類はいつでも確認できるファイルに保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修は必須	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			